

いーぶん

素敵なパートナーになるために



特集

新しい働き方
テレワーク

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、『テレワーク』が急速に普及しています。

これまでも、働き方の選択肢のひとつとして推奨されていましたが、みなさんは、『テレワーク』を実施したことがありますか？

働く人、その家族は、『テレワーク』をどう感じているのでしょうか。

新しい働き方 ~テレワーク~

テレワークとは、ICT（情報通信技術）を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方を言います。昨今、いろいろな場面で耳にしますが、働く場所によって、大きく3つに分けられます。

テレワーク 3つのパターン

在宅勤務

所属の勤務先に出勤することなく、自宅で仕事をする働き方



子供の様子をみながら自宅で仕事が進められるから会社を休まなくてもよかったわ。

東京の本社に通わなくても、地元のサテライトオフィスで仕事ができるので引っ越さなくてすんだ〜打合せもオンラインでOK！

サテライトオフィス勤務

勤務先以外の他の事務所や、遠隔勤務用の施設で仕事をする働き方



モバイルワーク

営業など外出が多い業務の場合に、移動中の交通機関の車内やカフェなどで仕事をする働き方



新幹線で報告書を作成したから直帰しようっと。時間に余裕ができたし、少し手の込んだ晩御飯を作ろうかな。

テレワークは、ワーク・ライフ・バランスの実現、人口減少時代における労働力人口の確保、地域の活性化などへも寄与する、働き方改革実現の切り札として期待されています。

ちなみに働き方改革とは、働く人が、それぞれの事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で選択できるようにするための改革のこと。

うまく取り入れることで、自分なりの働き方改革が、少しでも進められるといいですね！



ちょこっと豆知識！

「テレワーク」は、「tele = 離れた所」と「work = 働く」をあわせた造語で、1970年代にできた言葉とされています。意外に古い！

テレワーカーに聞いてみました！

実際にテレワークをしている方に、メリット・デメリット・気づいたことを聞いてみました。

新型コロナウイルス感染拡大の前からテレワークを利用していたAさん

在宅勤務だと来客がないので、自分のペースで仕事を進められます。出社時はその場での対応が必要な仕事、在宅勤務時は考える仕事などメリハリをつけて働いています。電話や来客の対応が特定の人に偏らないよう、チームで予定を調整しています。



テレワークに初挑戦したBさん

仕事も食事もゲームも寝るのも同じ場所で、仕事とプライベートがうまく区別できなかった。自分で時間を管理するのって、意外に大変。みんなは、どうなのかな？



大阪に単身赴任しているCさん家族

自宅で仕事ができるので、家族との時間が増えました！

パパとの時間が増えて子供は嬉しそう。

でも、会議が始まるとテレビを消したり、子どもを連れて公園へ行ったり、仕事用の部屋を用意したり。仕事に合わせた生活は、ちょっと疲れることもあるの…。



企業の役員Dさん

テレワークの導入をきっかけに、社内の打ち合わせも、オンラインで行うことが増えた。画質や音質には問題ないが、話す側、聞く側に分かれてしまい、一方的な説明になってしまうこともある。また、仕事の内容から、テレワークができない社員に対する配慮も重要だ。



働き方改革ってどうしたら進むんだろう？

テレワークを活用する人が増え、働き方改革が進み始めた今、改めて考えてみませんか？

地方で暮らす親を一人にさせたくない。
物価や住宅費を考えたら首都圏より地方の方が暮らしやすいし、
必要な時に出勤すれば、普段はオンライン会議も出来るし
在宅勤務で問題なし！



子育て中で働き方に制限はあるけれど、仕事がしたい。

まずは私たちがそれぞれ、なりたい姿を描くこと。
それぞれの環境や個性、価値観を認め合い、それに伴う働き方を実現させること。
みんながなりたい姿の実現と生活の充実に向けて、個人と組織で目指す働き方を考え、
取り組み続けましょう！

配偶者やパートナーからの暴力で悩んでいませんか？

外出自粛が続き、生活不安やストレスから、DV（ドメスティック・バイオレンス）の深刻化が
心配されています。ひとりで悩まず、困ったときには次の窓口へご相談ください。

一宮市女性悩みごと相談

相談場所 こども家庭相談室（本庁舎2階）、電話 0586-28-9149
相談時間 月～金 10:00～12:00、13:00～16:30、（祝日、年末年始を除く）
先着受付順（予約なし）電話相談も可能（混雑時は来所の方優先）

DV相談+（プラス）（内閣府）

新型コロナウイルス感染拡大により、相談窓口を拡充しました。
電話 0120-279-889（24時間対応）
SNS 12:00～22:00、メール 24時間対応 外国人向け相談あり
スマートフォンからは右のQRコードよりご利用ください。



『いーぶん』は『男女共同参画』に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。
『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。

編集協力者／岡西 美子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者／後藤 明美
編集・発行／一宮市総合政策部政策課

〒491-8501 一宮市本町2-5-6
TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128
Eメール seisaku@city.ichinomiya.lg.jp
ウェブサイト <https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>

*政策課のウェブサイト（ページID 1011667）では、『いーぶん』のバックナンバーが
ご覧いただけます。

*『いーぶん』は市内公共施設で配布しています。配布場所については政策課にお問い合わせください。



いちのみやし100周年 2021